

産建文教常任委員会

鷹山小学校の法面災害復旧は

6月12日に本委員会を開催し、

- ① 白鷹町土地開発公社と(財)白鷹町アルカディア財団の経営状況の報告
 - ② 鷹山小学校法面災害復旧
 - ③ 東西中学校統合事業
- について所管事務調査を行いました。

白鷹町土地開発公社の経営状況に関する質疑のなかで、公社の存続や深山住宅用地の今後の予定はとの問いに、当分は存続を視野に民業圧迫とならないように取り組みますとの答弁がありました。

アルカディア財団の経営状況に関する質疑の後、町長から改善計画を精査し状況把握に努めながら、設置者としての責任を果たしていくとの発言がありました。

3月24日に発生した鷹山小学校の法面の崩壊現場を現地調査しました。

5月18日に災害の応急工事が完成したことや、6月中に文部科学省の災害査定を受け補助額が確定するとの説明を受けました。

東西中学校統合事業では今年度に入ってから経過

説明や、今後は施設整備方針・校名・制服などを決定していくとの説明を受けました。

その他では、スポーツセンター構想案が町体育協会から出されており、7月開催の教育委員会で検討を行った後、町長に提出する状況との説明がありました。

また、古典桜群の県天然記念物指定に関しては「元のしだれ桜は樹勢が非常に弱く難しい。釜の越し桜は再調査を行う。県の担当者は、早ければ今年度中に県指定の裁定を県文化財保護審議会からいただくたいとしている。」との報告を受けました。



鷹山小学校の法面崩壊の現場

大規模養豚場悪臭問題特別委員会

関係者との継続協議を

6月7日に本委員会が開催され、今年度の取り組み状況としては、

- ・ 4月に臭気改善について関係者合同会議を開催し、毎日の管理体制や定期的な清掃実施は、見直しや対応が必要として養豚施設管理改善の文書指導を行ったこと。
- ・ 5月に経営状況について関係者合同会議を行ったこと。
- ・ 悪臭に対する苦情件数が20件であったことなどの報告がありました。

また、事業者側も地域の方との話し合いや意見交換などにより改善策を前向きに検討しているとのことでした。

今後の取り組みについては、臭気測定を継続実施し、臭気対策に係る技術などの情報収集を行い事業者に提供するなどして、事業者を含めた関係者との協議を継続的に行っていくとのことでした。